

型を起こさずに製品試作

新たに開発したレーザ加工機とプレス機を
組み合わせて加工した部品(右上)



フィルムや両面テープを
素材とした製品を生産す
るにあたり、顧客の要求す
るスペックを満たす型が必
要となる。しかし、型を作
成するには時間とコストを

要するため、急ぎの依頼、
小ロットへの生産対応に適
さないケースが見受けられ
た。そのため、顧客から提
供された図面から型を起
こさずに、直接、図面データ

からレーザ加工で
きないかというところ
から今回のプロ
ジェクトがスタート
した。

設備メーカーの
協力を得て本レー
ザ加工機を開発す
るに至った。現在は
着実に実績を積み
重ね型を使わない
で試作し、それをも
とに量産につなげる
体系が構築できた。
また、本設備では複
数回加工すること
で積層された製品

G.W.JAPAN (さいたま市桜区)

小ロット多品種対応のためのレーザ加工機開発

作成が容易にできるよう
なった。この積層された製
品を加工するための重要な
ポイントは、カメラで加工す
る位置を正確に読み取る
機能が不可欠となるが、本

イニシャルコストの低減にも
つながる。導入した設備は
1台だが、関連会社が大阪
にあり、そちらにも1台導
入して稼働している。

設備では高い精度で位置を
読むことが実現された。こ
れによって顧客のニーズに幅
広く対応できる生産体制
が整った。また型を起こさ
ずに製品を生産できるため

現在は電子機器、OA機
器、自動車の電装部品を中
心に生産しているが、マスカ
スタマイゼーションを見据え
て、医療機器をはじめとし
て、より広いジャンルの製品
も扱っていきたいとのことだ。

【株式会社G.W.JAPAN】

本社はさいたま市桜区栄和2の14の5。秋川史朗代表取締役
社長。2008年8月に中国のG.W. Enterprises
Limitedが50%出資した合弁会社を設立。11年に100
%子会社となり、商号をG.W.JAPANに変更した。12年8月
に現在地に移転。「親和」「誠実」「進歩」を社是に、主とし
て弱電や車の部品に使われるテープ、フィルムおよびシート製
品のプレス加工を行っている。